

佐渡市立高千小学校

令和7年度学校だより

令和7年11月4日 No.8

しおかせ

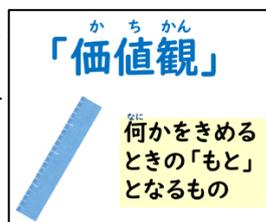
正解は一つじゃない～子どもたちに伝えたい多様性～

校長 後藤 洋子

「秋」霜月。雨模様の天気を迎える度に、寒さを感じるようになってきました。10月25日（土）は、秋晴れの中、高千小・中学校文化祭を高千中学校会場で行いました。学習発表会には、保護者の皆様、地域の皆様など大勢ご来校いただき、子どもたちの学習の成果、頑張る姿を見ていただきました。ありがとうございました。

全校朝会で子どもたちに以下のようなお話をしました。

今日は、「価値観」についてのお話をします。「価値観」とは、皆さんが何かを決める際の「もと」となるものです。皆さん一人一人にある「ものさし」だと考えてください。



10月の連休中、友人3人と久しぶりに会い旅行に行くことになりました。朝食を食べました。モーニングセットにしたので「目玉焼き」が出てきました。

校長先生は、普通に、当たり前「しょう油」をかけて食べました。食べながら前に座っているAさんを見ました。すると、目玉焼きに「ソース」をかけて食べていました。友だちだからと思い、一言注意をしました。



「Aさん、目玉焼きには「しょう油」でしょ。爽やかな朝から甘くドロツとしたソースをかけなくてもよいでしょ。」

すると、Aさんは、

「目玉焼きにパンだから、ソースでしょ。洋食なんだから。それに「しょう油」をかけても流れるだけでしょ。」

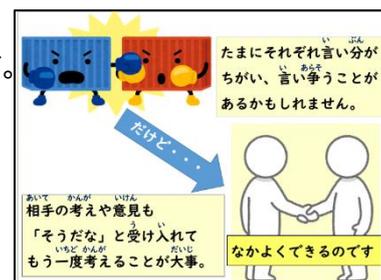
そう言われてしまうと言い返すことが難しかったので、隣にいるBさんを味方に付けようと思い、話しかけると、何とBさんは、目玉焼きに「ケチャップ」をかけていました。

「Bさん、目玉焼きには「しょう油」でしょ。トマトケチャップはありえないでしょ。」

すると、Bさんは「パンと一緒に食べるのに「しょう油」が一番おかしいでしょ。変だよ。」

朝から3人は、ああでもない、こうでもない、しょう油が間違っている、ソースが間違っているなど、目玉焼きに何をかけるかで言い合っていました。さて、その後の旅行はというと、またみんなで楽しく旅行を続けました。

家族でも、仲の良い友だちでも、「違うこと」はたくさんあるものです。たまに、それぞれの言い分が違い、言い争いになることもあるかもしれません。目玉焼きの味付けにしても、「自分の中の「ものさし」が正しく、他の人の考えがおかしい」と思っていたところから始まっています。一人一人の好みや考え方が違うことが当たり前ですが、相手の考えや意見を聞き、



「そうだな。」「〇〇さんは、そう考えているんだな。」と一度受け入れて、もう一度考えることが大事です。

考え方が違っていても、仲良くできます。さあ、あなたは目玉焼きに何をかけますか？